

東京湾海況情報 28-7

東京湾水質調査結果（平成28年10月）

（平成28年10月11日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 10/3：内湾（ふさなみ）、内房海域（ふさみ丸）
 関東・東海海況速報（10/3）、東京湾口海況図（10/3）
 モニタリングポスト（10/3：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁）
 神奈川県水産技術センター（10/3）、千葉県環境研究センター（10/3）

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)はほぼ24℃台で、平年より約2℃ほど高くなっています。塩分は全域で28PSU以下で、北部沿岸ではかなり低い状態です。内房海域の表層水温も平年より高く、23～24℃台です。塩分は28～33PSU台で、内房北部海域でやや低い状態でした。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)では、水温は表層と底層の温度差が小さくなっています。塩分は内湾で表層から水深5m付近まで28以下の水塊で覆われていました。

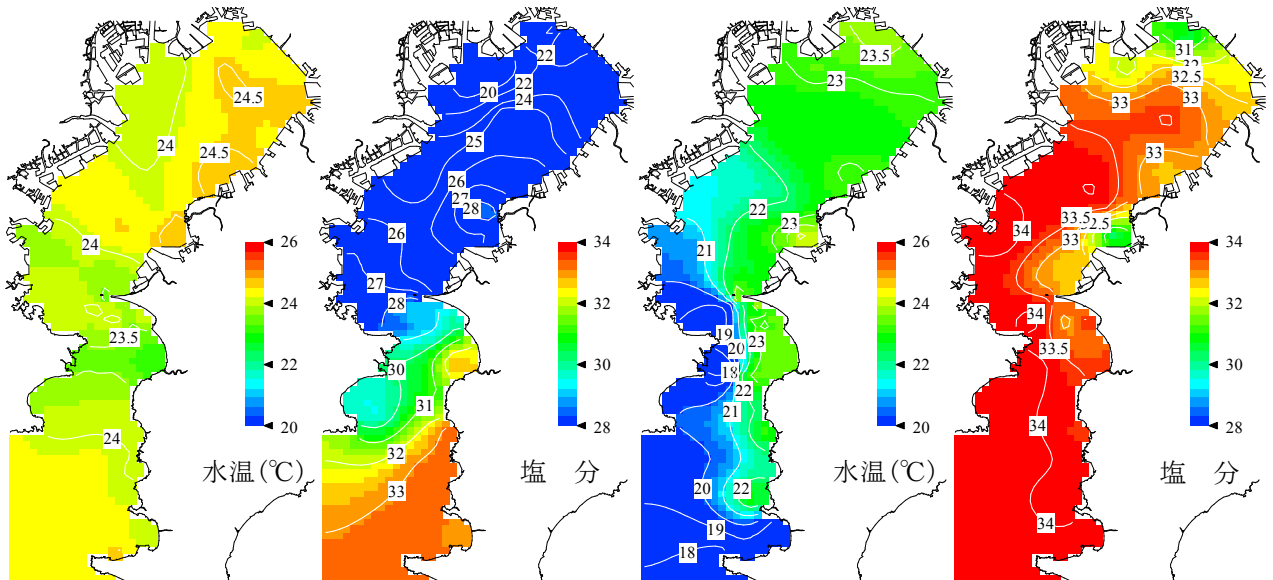


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

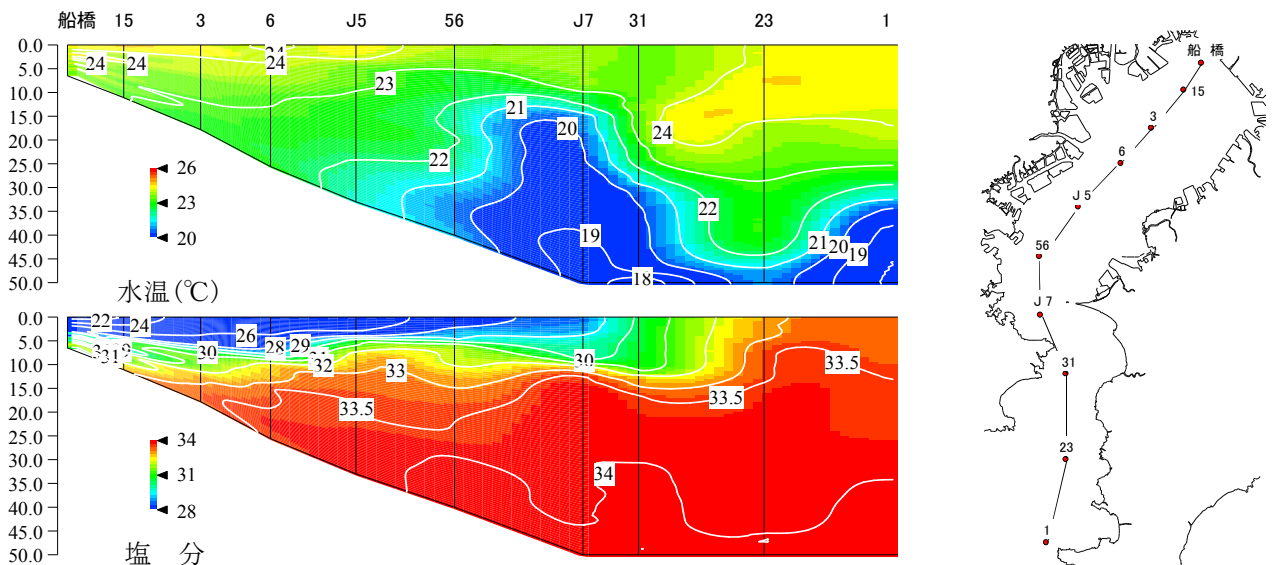


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は内湾全域及び内房北部地区ノリ漁場周辺で発生し、内湾中央から北部ではpH8.6～8.9、透明度1m台前半で、水色は褐～茶褐色を呈する程の濃い状態でした。

優占種はケイ藻のスケルトネマ (*Skeletonema* sp.) とタラシオシラ (*Thalassiosira* sp.) で、内房北部海域ではシュードニッチア (*Pseudonitzschia* sp.) もやや多くみられました。

一方、保田から富浦にかけての周辺海域ではケイ藻類が若干みられる程度でした。

これらはいずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

| | |
|----------------------|------------------|
| ※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。 | |
| 色 | : オリーブ～褐色 |
| 酸素飽和度 | : 150%以上 |
| 透明度 | : 1.5m以下 |
| pH | : 8.5以上 |
| クロロフィルa | : 50 μ g/L以上 |

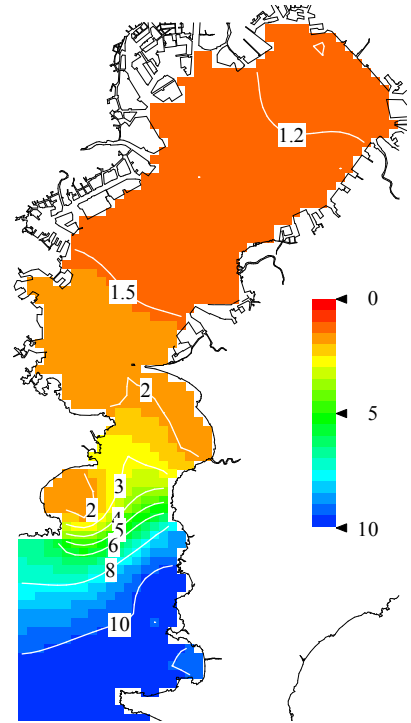


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は中央部の東側から北部海域で低下し、0.5ml/L以下の強い貧酸素水塊が北部海域で広く分布していました。

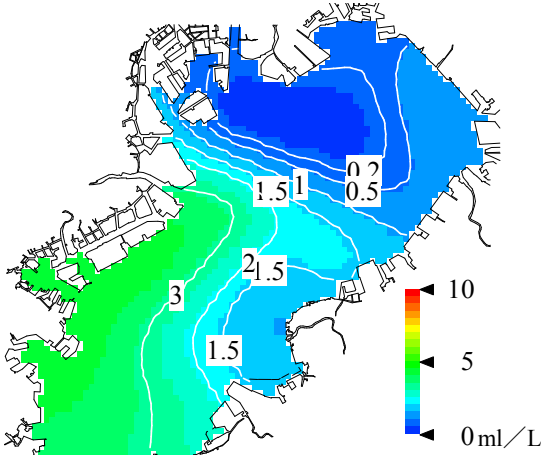


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

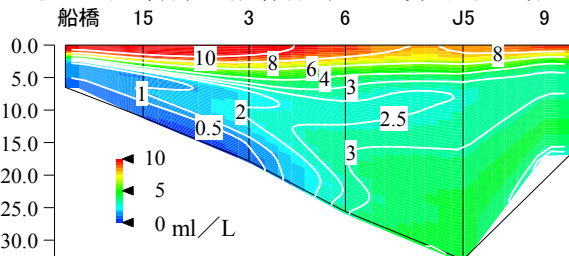


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン(PO_4-P)ともほぼ全域で平年より少なく、リン酸態リン(PO_4-P)は内湾から内房北部海域でかなり少なくなっています。

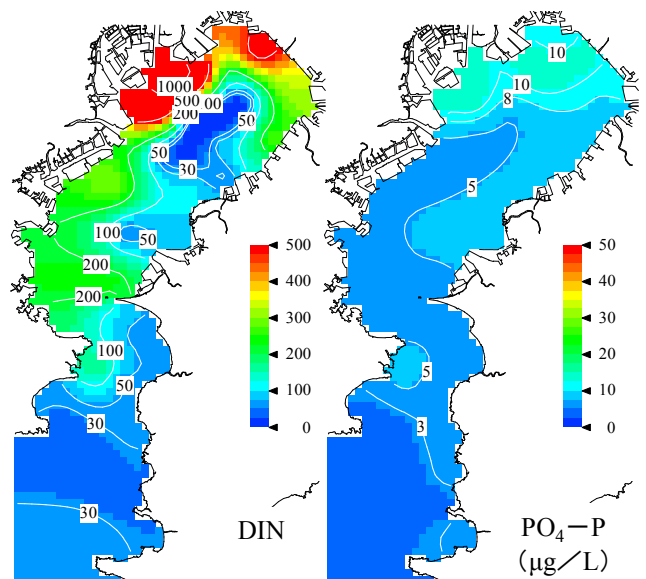


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮はC型基調で推移し、その流軸は3日現在八丈島の南側を通過した後、蛇行しながら北上し、房総半島南東岸に接岸しながら北東方向へ流れています(図8)。

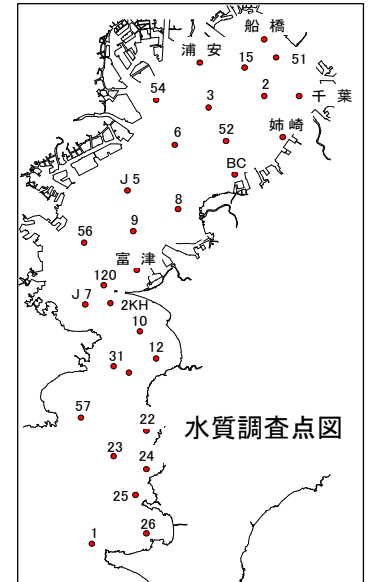
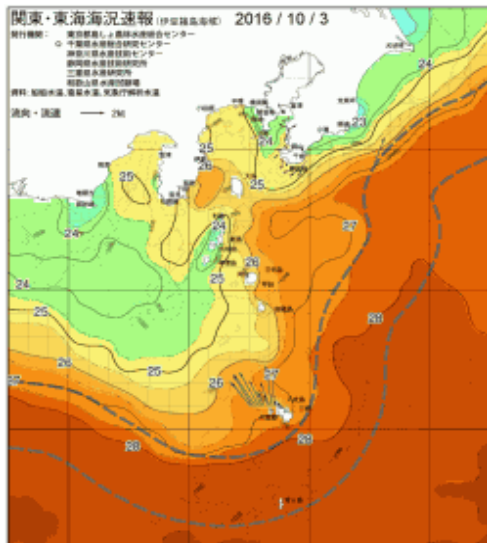


図8 黒潮の動き (平成28年10月 3日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2006~2015年)

| 調査点 | 水温 (°C) | 塩分 | 透明度 (m) | pH | 溶存酸素量 (ml/L) | アンモニア態窒素 (µg/L) | 溶存無機態窒素 (µg/L) | リン酸態リン (µg/L) | クロロフィルa (µg/L) |
|------|-------------------|----------------|------------------|----------------|--------------|-----------------|----------------|---------------|----------------|
| 内湾 | 船橋 | 24.1 (22.6) | 21.01 (30.37) | 1.2 (2.2) | 8.8 (8.3) | 0.3 (2.1) | 15 (60) | 517 (210) | 8 (32) |
| | st.15 | 24.5 (22.3) | 22.07 (29.85) | 1.1 (2.1) | 9.0 (8.4) | 0.1 (1.6) | 30 (21) | 192 (143) | 13 (16) |
| | st.3 | 24.2 (22.2) | 25.25 (29.33) | 1.3 (2.8) | 8.9 (8.4) | 0.1 (1.3) | 18 (52) | 26 (303) | 6 (22) |
| | st.6 | 23.9 (22.0) | 24.98 (30.01) | 1.5 (3.1) | 8.8 (8.4) | 3.0 (2.5) | 23 (26) | 57 (186) | 3 (16) |
| | st.9 | 24.5 (22.1) | 26.02 (30.16) | 1.3 (4.3) | 8.8 (8.3) | 2.3 (3.3) | 13 (30) | 34 (201) | 7 (22) |
| | st.BC (盤洲Cブイ) | 24.7 (22.9) | 26.79 (30.66) | 1.3 (2.7) | 8.7 (8.4) | 1.7 (2.7) | 14 (29) | 26 (132) | 7 (25) |
| | st.8 (盤洲A南) | 24.1 (22.2) | 28.18 (30.78) | 1.4 (3.6) | 8.6 (8.3) | 1.4 (2.7) | 13 (38) | 82 (174) | 7 (27) |
| | 富津 | 23.7 (22.1) | 25.40 (31.05) | 1.7 (4.9) | 8.4 (8.2) | 2.7 (3.7) | 24 (52) | 196 (226) | 4 (24) |
| 内房海域 | st.2KH (第2海ほ下) | 24.0 (22.1) | 28.94 (31.91) | 2.0 (5.5) | 8.4 (8.2) | | 17 (38) | 122 (181) | 4 (23) |
| | st.31 | 23.4 (22.3) | 30.26 (31.96) | 3.0 (7.8) | 8.4 (8.2) | | 13 (22) | 147 (131) | 7 (17) |
| | st.23 | 24.1 (23.1) | 32.78 (33.04) | 9.0 (12.4) | 8.3 (8.2) | | 6 (14) | 21 (70) | 2 (8) |
| | st.1 | 24.3 (23.5) | 33.30 (33.38) | 11.0 (15.4) | 8.3 (8.2) | | 30 (21) | 47 (45) | 3 (6) |
| | st.10 (下洲沖) | 23.6 (22.2) | 29.30 (32.10) | 2.0 (5.2) | 8.4 (8.3) | | 9 (25) | 45 (152) | 3 (17) |
| | st.12 (湊沖) | 23.1 (22.4) | 32.63 (32.09) | 2.0 (5.4) | 8.3 (8.2) | | 13 (18) | 49 (109) | 4 (14) |
| | st.22 (保田沖) | 24.0 (23.2) | 33.16 (33.31) | 9.0 (12.4) | 8.3 (8.2) | | 10 (14) | 35 (44) | 4 (5) |
| | st.24 (富山沖) | 24.0 (23.3) | 33.33 (33.40) | 11.0 (13.1) | 8.3 (8.2) | | 8 (15) | 26 (38) | 4 (5) |
| | st.26 (館山湾内) | 24.1 (23.7) | 33.01 (33.63) | 10.0 (12.8) | 8.3 (8.2) | | 9 (17) | 27 (33) | 3 (5) |

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。